

## (4) 教育普及事業

### 1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。県民のニーズに対応し、社会教育・学校教育との連携を図るなかで、文学専門の博物館としての特殊性を生かし、年間を通しての文学講座の開催、講演会の開催、文学的に価値ある映画の上映、朗読講演会など、県民や来館者の生涯にわたる学習がより一層進展するように学習支援を行っていく。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要であると考え。子どもから大人までの幅広い県民の文学活動の中心となり、文化の発信拠点を目指す。

### 2. 教育普及活動の内容

#### (1) 特設展・企画展関連教育普及事業

企画展「北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです」、春の特設展「辻嵐外 甲州の近世俳人」、夏の特設展「宮沢賢治 保阪嘉内への手紙」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行う。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

- ①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。
- ②関連映画鑑賞会を実施。
- ③関連ワークショップを実施。
- ④ギャラリートーク（展示解説）を実施。
- ⑤チャレンジクイズ

楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

#### (2) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講する。

平成28年度は、外部講師による「古典文学講座（全8回）」と「近代文学講座（全8回）」の2講座と、当館の学芸員が講師を務める「山梨の文学講座（全3回）」を実施した。

講座1のテーマは「甲州地誌『裏見寒話』－甲州の伝説を読む」、講座2のテーマは「宮沢賢治 童話の世界」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの人物と文学についての講座を実施した。

#### (3) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施し、企画展開催期間中には関連映画鑑賞会を実施、また、夏休みには子ども向け映画上映も計画している。平成28年度は一般向け映画5回、子ども向け映画を2回、全7回実施した。

#### (4) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。平成28年度は、劇団黒テントによる「物語る演劇 山崎方代」を7月に実施した。

#### (5) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。今年度は、映画監督の成島出氏の講演「映画と文学」（一般および高校生対象）と三枝昂之館長と三枝浩樹氏による短歌教室（計5回）を開催した。

## (6) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者と作品を紹介する講座である。当館の研修室・講堂等あるいは市町村施設等において、説明・講義した。

## (7) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に夏の特設展と秋の企画展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図った。

## (8) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていく。

### ① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等、あるいは各小中学校、高等学校において、説明・講義する。

### ② 子ども名作映画会

当館講堂において、夏休み（2回）の期間中に良質の映画の上映を行う。

### ③ 子どもワークショップ

子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。今年度は、特設展関連事業として「つまみ細工でおしゃれ巾着を作ろう！ー嵐外の梅の花ー」また、夏休みのワークショップとして、「大人も楽しい伝統芸能～能の世界を体験しよう～」 「ペーパークイリングで銀河鉄道の写真立てを作ろう！」 『『やまなし』の森の飛び出す絵本を作ろう！』を開催した。1月には、「新春ワークショップ百人一首教室」を実施した。

### ④ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成している。平成27年は宮沢賢治の教育普及資料を改訂するなど、随時見直しを行っている。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにする。

### ⑤ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施する。さらに、夏休みスタンプラリーの活用により、夏休み期間中は「夏休みチャレンジ文学館」として子どもたちへの浸透を図った。

### ⑥ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

### ⑦（ジュニア）インターンシップ（就業体験）

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校・大学生の職場見学や（ジュニア）インターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。平成28年度は高校生のインターンシップを受け入れた。

### ⑧ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。平成28年度は、「石川啄木セット」（等身大パネル・短歌および解説パネル）を県内小中高校2校に、飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セット（蛇笏、龍太のちまちな人形・俳句および解説パネル）を9校に、「村岡花子と『赤毛のアン』の世界セット」を5校に、また、「宮沢賢治～イートハーブの世界・嘉内（かない）との友情物語～セット」を16校に貸し出した。

(9) やまなし文学賞について

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説、研究・評論の2部門が設けられている。平成28年度は小説部門300編、研究・評論部門118編の応募があった。

平成28年度 教育普及事業の実施状況

分類	内容 講師等	開催日・会場等	参加人数
文学講座 1	「甲州地誌『裏見寒話』—甲州の伝説を読む」 講師:長谷川千秋(山梨大学教授)	土曜日 14:00~90分間 講堂	全8回 1013人 平均 127人
文学講座 2	「宮沢賢治童話の世界」 講師:牛山 恵(都留文科大学名誉教授)	木曜日 14:00~90分間 講堂	全8回 1245人 平均 156人
文学講座 3	「山梨の文学」 宮沢賢治 保阪嘉内への手紙を読む 講師:中野和子(当館学芸員) 近世甲斐の国学者 萩原元克—著作と館蔵資料から 講師:伊藤夏穂(当館学芸員) 笛吹の文学 講師:梶原宣仁(当館教育主事)	木曜日 14:00~70分間 8/4(木) 研修室 10/27(木) 研修室 12/15(木) 研修室	全3回 139人 平均 46人
参加者合計			2397人
企画展関連事業	講演会「どくとるマンボウ家のてんやわんや」 講師:齋藤由香(エッセイスト・北杜夫長女) 講演会「北杜夫とどくとるマンボウ、二人で一人」 講師:石原千秋(早稲田大学教授) トーク「北杜夫は3人いました—喜美子夫人が語る波乱の50年」 講師:齋藤喜美子(北杜夫夫人) 聞き手:三枝昂之(当館館長) 「これは必見! 展示資料から」 講師:保坂雅子(当館学芸課長) ギャラリートーク 講師:保坂雅子(当館学芸課長)	10/1(土) 講堂 10/30(日) 講堂 11/3(木) 講堂 9/26(月) 研修室 9/26(月)	380人 162人 416人 95人 31人
参加者合計			1084人
特設展関連事業	講座「辻嵐外の句と絵の魅力」 講師:高室有子(当館学芸幹) 「辻嵐外 甲州の近世俳人」 ギャラリートーク 講師:高室有子(当館学芸幹)	5/14(土) 研修室 5/14(土)	85人 45人
「宮沢賢治 保阪嘉内への手紙」	講演会「宮沢賢治と保阪嘉内」 講師:渡辺えり(俳優) 移動プラネタリウムによる 「賢治と嘉内~二人の青春」	7/10(日) 講堂 8/28(日) 研修室	447人 47人
参加者合計			624人
文学創作教室	一般文学創作教室「映画と文学」 講師:成島 出(映画監督) 高校生文学創作教室「映画と文学」 講師:成島 出(映画監督) 「初心者短歌教室」 全3回 講師:三枝浩樹(歌人) 「短歌講座」 全2回 講師:三枝昂之(当館館長)、三枝浩樹(歌人)	5/29(日) 講堂 5/29(日) 講堂 5/7(土) 研修室 5/28(土) 研修室 6/25(土) 研修室 9/8(木) 研修室 11/26(土) 研修室	191人 37人 26人 25人 22人 61人 42人
参加者合計			404人

名作映画鑑賞会	「居酒屋兆治	5 / 15(日) 講堂	195人
	真昼の暗黒	6 / 19(日) 講堂	180人
	アニメ「銀河鉄道の夜」	7 / 30(土) 講堂	215人
	アニメ「鉄腕アトム 緑の猫」	8 / 6(土) 講堂	50人
	残菊物語	9 / 18(日) 講堂	185人
	道～白磁の人	10/16(日) 講堂	192人
	彼岸花	11/20(日) 講堂	270人
	参加者合計		1287人
子どもワークショップ	つまみ細工	5 / 22(日) 研修室	30人
	夏休み自由研究プロジェクト	7 / 18(月) アイメッセ	412人
	大人も楽しい伝統芸能 能	7 / 27(水) 美術館講堂	61人
	ペーパークイリングで写真立てを作ろう	7 / 31(日) 研修室	27人
	飛び出す絵本	8 / 7(日) 研修室	35人
	新春ワークショップ百人一首教室	1 / 8(日) 茶室	54人
参加者合計		619人	
チャレンジクイズ	チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」		1988人
	文学の柱		254人
	企画展チャレンジクイズ		1021人
	特設展チャレンジクイズ		1106人
参加者合計		4369人	
協会会読書会	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	5 / 8(日)	8人
	太宰治「お伽草子」	6 / 12(日)	8人
	野坂昭如「アメリカひじき・火垂るの墓」	8 / 6(土)	7人
	やまなし文学賞受賞 山本淳子著「彩りの里にて」	9 / 11(日)	8人
	北杜夫「どくとるマンボウ航海記」	10/ 2(日)	5人
	角田光代「対岸の彼女」	11/13(日)	10人
	五木寛之「風の王国」	12/11(日)	7人
	林真理子「女文士」	1 / 22(日)	5人
	藤沢周平「時雨のあと」	2 / 12(日)	7人
	芥川賞受賞作	3 / 5(日)	7人
参加者合計		72人	
ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ)	高校 2校		10人
	学芸員実習 京都女子大学		1人
参加者合計		11人	
山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校)	小学校 4回		小中高特 735人 一般 153人
	中学校 2回		
	高等学校 1回		
	一般 5回		
参加者合計		全42回 888人	
文学教室	展示解説		小中高特 2120人 一般 452人
	小学校 13校		
	中学校 24校		
	高等学校 17校		
	一般 10回		
参加者合計		全64回 2572人	
その他	移動文学館パネル展示		34校 11285人
	やまなし文学賞(小説 300 研究・評論 118)		418人
	やまなし文学賞表彰式	3 / 12(日)	110人
	朗読公演会	7 / 16(土)	247人
	外部共催研修	2 回	59人
	各種団体への広報活動	16 回	603人
参加者合計		12722人	

## (5) 刊行物の記録

### ① 山梨県立文学館館報 (A 4版8頁) 寄稿文及び資料翻刻一覧

99号 2016(平成28)年6月10日発行

【寄稿】 黒皮の手帳 角野栄子(童話作家)

【資料翻刻】 半田良平 鈴木孝宛書簡、窪田空穂 鈴木孝宛書簡

100号 2016(平成28)年9月10日発行

【寄稿】 北文学の起源 新部公亮(栃木県庁職員・日本昆虫協会理事)

【資料翻刻】 堀口大學 長谷川巳之吉宛書簡

101号 2017(平成29)年3月10日発行

【寄稿】 周五郎への測鉛 齋藤愼爾(俳人・深夜叢書社主宰)

### ② 企画展「北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです」図録 寄稿一覧

北杜夫はどこにいるのか

北杜夫と「戦後の」旧制高等学校

北さん、辻さんの青春のかたみ

『昆虫記』から『医局記』への遠い道

北さん宅で感じた楡家の余韻

忘れられない年譜づくり

『寂光』と「軽井沢歌稿」—歌人北杜夫を読む

石原 千秋

竹内 洋

小島千加子

宮田 稔栄

保坂 和志

斎藤 国夫

三枝 昂之

### ③ 資料と研究 第21輯 平成28年3月31日発行 A 5版226頁

平成28年度企画展をめぐって

北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです

棄民か侵略か—北杜夫『輝ける碧き空の下で』

歌人北杜夫の世界

望月市恵・保高德蔵・なだいなだ・山川方夫 北杜夫宛書簡 翻刻

石原 千秋

三枝 昂之

保坂 雅子

飯田蛇笏 高室呉龍宛書簡 翻刻 一九二九(昭和四)年

田中冬二宛書簡『海の見える石段』ほか献本に対する礼状 翻刻

芥川俊清「『書留』抄録」と芥川家に関係すると思われる文書目録

中村星湖作成スクラップブック<sup>㊤</sup> その五

編集後記

高室 有子・中野 和子

伊藤 夏穂

中村 章彦

飯沼 典子・水上百合子

## (6) 閲覧室の運営

### ① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

### ② 閲覧室の利用

#### ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時  
土・日・祝日 午前9時～午後6時  
※休館日は閉室

#### イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

#### ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

### ③ 閲覧室の業務

#### ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している（一部禁閲覧資料あり）。また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製）、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など、実物の閲覧が困難な資料を、画像で閲覧に供している。

#### イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

所蔵資料（図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料）の書誌情報は、文献検索システムにより、閲覧室内のコンピュータ端末及び当館ホームページから検索できるようになっている。

図書データは通常の書誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能である。

逐次刊行物については、一部のものは所載論文名、作品名、執筆者名からの検索もできる。

平成28年1月にシステムの更新を行った。

#### ウ 調査・相談業務（レファレンス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

#### エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。（有料）

#### オ 朗読テープ・CDの利用

朗読テープ・CDは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

#### カ 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内には個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、個人及びグループでの研究・研修などの利用に供している。（有料）

#### キ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学関連の映像資料を提供している。

#### ク 資料紹介

所蔵する資料は、ほとんどが閉架であり、直接来館者の目にふれることは少ない。そこで収蔵されている図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

#### ケ 書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説している（年2回開催）。



## 閲覧室事業実施状況

### ◆「閲覧室資料紹介」

回	タイトル	展示期間
125	やまなしの文芸同人誌 ー私の表現世界ー	平成28年4月29日～6月19日
126	宮沢賢治 童話の世界	7月9日～8月28日
127	マンボウ先生の作品たち ー北杜夫の世界ー	9月16日～11月23日
128	芥川賞・直木賞の小説を味わう	平成29年2月10日～4月9日

### ◆「文学者の誕生日にちなんだ資料紹介」

タイトル	展示期間
木々高太郎 (5 / 6 生)	平成28年4月22日～5月12日
新田 次郎 (6 / 6 生)	6月27日～6月9日
村岡 花子 (6 / 21生)	6月17日～7月6日
辻 邦生 (9 / 24生)	9月9日～9月28日
石原 八束 (11 / 20生)	11月16日～12月8日
檀 一雄 (2 / 3 生)	平成29年1月27日～2月8日
李 良枝 (3 / 15生)	3月10日～3月23日

### ◆ 書庫見学

実施日	参加者
平成28年6月11日	25名
平成28年11月20日・県民の日	51名



資料紹介「芥川賞・直木賞の小説を味わう」



書庫見学（平成28年6月11日）